

平成29年度

財政状況を公表します

問合せ先
財政課 ☎(275) 6084

歳出

■ 予算現額 262億1,400万1千円
■ 支払済額 202億9,918万3千円
■ 支払率 77.4%

民生費

医療費の助成
福祉施策など

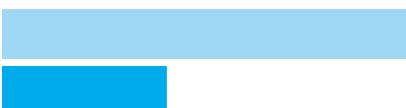
99億8,723万8千円
88億3,040万3千円



土木費

道路・公園・河川
の整備事業など

54億562万4千円
21億5,877万8千円



公債費

市の借入金の元金
利子償還金など

33億8,265万円
33億3,751万6千円



教育費

学校施設の整備
図書館の管理運営など

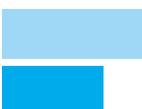
21億6,759万5千円
19億3,487万6千円



総務費

市税の賦課・戸籍
選挙事務など

19億51万9千円
13億3,087万4千円



衛生費

健康づくり・ごみ処理
リサイクル推進など

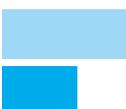
17億6,945万円
15億8,009万2千円



その他

消防、産業・農業
振興など

16億92万5千円
11億2,664万4千円



財政状況の公表は、地方自治法第243条の3第1項並びに「財政状況」の作成及び公表に関する条例に基づき、市の財政について十分なご理解をいただくとともに、市の財政運営に対して、より一層のご協力をお願いするために毎年2回定期的に公表しているものです。

今月号では、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの市の財政状況についてお知らせします。

※数字はすべて平成30年3月31日現在のものです。

特別会計

特別会計とは、一般会計とは切り離して独立した経理が行われる会計のことをいいます。各特別会計には予算があり、一般会計における単一会計主義の原則に対する例外とされています。特別会計は、下水道や国民健康保険などの事業における使用料や保険料などの歳入をもってそれぞれの事業を行います。

(千円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	8,910,211	6,922,179	8,243,728
公共下水道事業	2,661,798	2,173,971	1,997,875
墓地事業	7,580	5,112	2,821
介護保険	5,050,240	4,428,145	4,343,691
後期高齢者医療保険	845,421	805,756	715,899

■ 一般会計

▶ 市税収入の内訳

市の歳入の大半は、市民の皆さんから納めていただく市税によって成り立っています。

平成 29 年度の市税収入は、99億4,367万円となっています。市民 1 人あたりに換算すると 171,762 円となります。

このお金は、保健や福祉、道路、学校、公園など、市民の皆さんの生活を豊かにするために役立てられています。

なお、都市計画税は、街路、下水道、公園等の都市計画事業に充当されています。

歳入

■ 予算現額	262億1,400万1千円
■ 収入済額	205億2,633万2千円
■ 収入率	78.3%



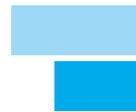
市税	103億8,900万円	皆さんに納めていただいた税金
	99億4,367万円	



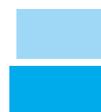
国庫支出金	51億529万5千円	国からの負担金や補助金など
	41億5,342万4千円	



市債	36億8,784万円	国や銀行などからの借入金
	15億1,534万円	



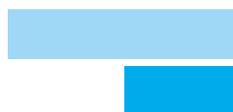
府支出金	17億4,253万5千円	府からの負担金や補助金など
	11億759万9千円	



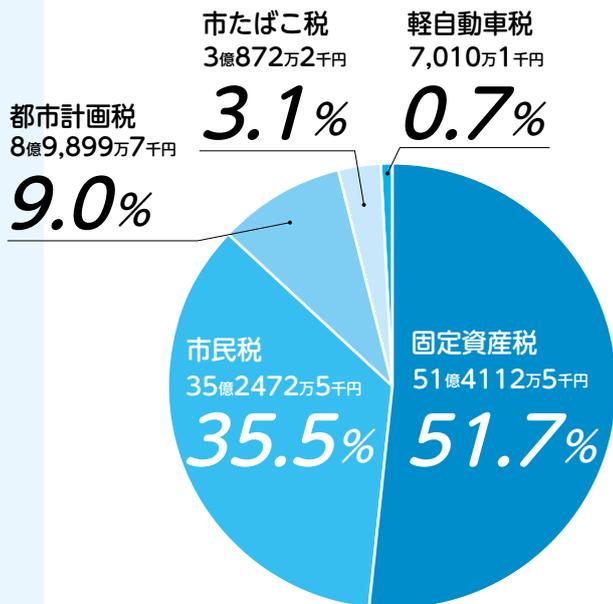
地方交付税	12億1,900万円	国税の一部から市の財政力に応じて交付されるお金
	13億125万9千円	



地方消費税交付金	10億円	人口等により配分される消費税の地方分
	9億7,252万7千円	



その他	30億7,033万1千円	繰入金や諸収入、地方譲与税など
	15億3,251万3千円	



■ 水道事業会計

水道事業会計は企業会計方式により経理を行っており、財政状態を表す「貸借対照表」と経営成績を表す「損益計算書」で決算を表します。水道事業は皆さんの水道料金の収入をもって配水管や配水場施設の更新・維持管理等を行い、安全で安心な給水サービスに努めています。

貸借対照表

(千円)

損益計算書

(千円)

貸借対照表		損益計算書	
資産	負債・資本	費用	収益
流動資産 2,083,828	流動負債 333,716	営業費用 1,114,623	営業収益 1,176,867
	固定負債 1,344,423	営業外費用 20,412	
固定資産 3,964,280	繰延収益 898,899	特別損失 60	
(減価償却累計額 △4,835,136)	資本 3,471,070	当年度純利益 120,080	営業外収益 78,308
合計 6,048,108	合計 6,048,108	合計 1,255,175	合計 1,255,175

※消費税抜

※消費税抜

市の借入金

公債の残高と土地開発公社に対する債務保証額の合計が、実質的な後年の債務となります。

▶ 公債残高

551億1,717万5千円

公債とは、主に道路や学校、公園などの建設事業等に充当するために、市が国や金融機関等から借り入れた債務。将来の償還を見据えながら、計画的に借り入れを行っています。

【公債残高の内訳】

(千円)

会計等		未償還元金
会計	一般会計	35,500,045
	公共下水道事業特別会計	14,656,419
	水道事業会計	1,207,541
小計		51,364,005
一部事務組合	泉北環境整備施設組合	3,673,664
	公共下水道	3,304,686
	ごみ処理	324,820
	し尿処理	36,472
	下水道(都市下水路)	890
	その他	6,796
	高石市泉大津市墓地組合	79,506
小計		3,753,170
合計		55,117,175

▶ 土地開発公社に対する債務保証額

9億6,400万円

市では、平成25年度に、第三セクター等改革推進債を活用するなどして、土地開発公社の債務を大幅に解消しました。現在、公社の保有する土地は、次のとおり都市計画道路南海中央線用地約24億円です。この取得費用は、市からの借入金約13億円を除き、金融機関からの借入金9億6,400万円で賄っており、市が債務保証を行っています。今後、公社が先行取得している用地の計画的な買い戻しを進め、債務の全面的な解消を図り、平成32年度までに解散させるべく取り組んでいきます。

【債務保証額の内訳】

	保有面積 (㎡)	保有高 (千円)
南海中央線用地	3,460.39	2,387,994

実質的な後年の債務 (上記の合計)

560億8,117万5千円

▶ 一時借入金現在残高

一時的な現金不足が生じた場合に、その支払い資金の不足を補うために金融機関等から借り入れるもので、その年度内に償還されます。年度内に償還されるという点で、公債と区別されています。

・国民健康保険特別会計…14億8,000万円

市有財産

▶ 目的基金等

58億8,164万4千円

※目的基金等のうち、一般会計が26億9,000万円の借入れを行い、実質的な目的基金等は31億9,164万4千円となります。

【目的基金等の内訳】

(千円)

財政調整基金	2,523,113
保健医療基金	2,262,846
泉北3区公共施設整備基金	12,830
公共施設整備基金	3,066
福祉基金	52,540
緑化基金	97,875
奨学基金	39,078
文化・スポーツ・国際交流振興基金	19,741
土地開発基金	575,121
介護保険給付費準備基金	245,548
市営浜墓地基金	49,886

▶ 土地

606,605.54㎡

▶ 建物

194,384.64㎡

▶ 財産区基金

財産区基金とは当該地区住民の総意に基づき地区の施設整備等を図るなど、市民福祉の向上のために資する基金。

【財産区基金の内訳】

(千円)

基金名	現在高
今在家(上池関係地区)地区整備基金	30,032
南(長取石池関係地区)地区整備基金	18,076
土生・新家・綾井・大園・富木・北・南(旧取石池関係地区)地区整備基金	7,128
合計	55,236